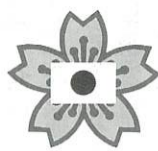


国防は最大の
福祉である

初代会長 故 高橋季義



國の支え

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会
(略称・関防会)
〒542-0081
大阪市中央区南船場3-11-10
心齋橋太陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 濱野晃吉
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第46号

(春季号)

平成23年4月1日(金)
(皇紀2671年)
(大正紀元100年)
(昭和紀元86年)

占領憲法を破棄せよ

憲法学者 小森 義峯



「憲法上の革命」が行われている。現行憲法は、「革命」によって生まれ、と説く。

*ポツダム宣言 10項「日本国政府ハ日本国民ノ間ニオケル民主主義的

傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障礙(しょうがい)ヲ除去スベシ」

*ポツダム宣言12項「日本国民ノ自由ニ表明セル意志ニ從ヒ(中略)責任アル政府ガ樹立セラ

ルニ於テハ聯合國ノ占領軍ハ直ニ日本国ヨリ撤収セラルベシ」

3 無効説(井上李膺(たかまろ)、菅原 裕、南出喜久治)

現行憲法は、占領下、占領軍の強制により、憲法改正の限界を越えた「国体の変革」まで行っている。故に理論上は「無効」、但し、現実には「公けの権威の確立があるまでは憲法として受け取り」「これに恪循(かくじゆん)するを要する。」(井上李膺著『憲法研究』300頁)

4 非常大権説(小森義峯、里見岸雄、大串鬼代志)

ポツダム宣言は、明治憲法31条の非常大権の発動によって受諾された。その結果として、現行憲法が誕生した。但し、「国体法」は、天壤無窮のものであるから、「国体法」に反する現行憲法の規定は、すべて「無効」で、「政体法」的規定のみ有効、と説く。

*終戦の詔書の冒頭「朕(中略)非常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ(中略)帝國政府ヲシテ(中略)共同宣言(ポツダム宣言)ヲ受諾スル旨通告セシメタリ」

*明治憲法第31条「本章(第二章・国民権利義務)ニ掲ケタル条規ハ戦時又ハ国家事變ノ場合ニ於テ天皇大権ノ施行ヲ妨ケルコトナシ」

*憲法義解(キケ)(井上 毅(こわし)筆)による立法趣旨

「蓋(いだし)国家ノ最大目的ハ其ノ存立ヲ保持スルニ在リ 練熟ナル船長ハ覆没ヲ避ケ航路ノ生命ヲ救フニ必要ナルトキハ其ノ積荷ヲ海中ニ投棄セザルヘカラス良將ハ全軍ノ敗退ヲ避ケタル為ニ己ムヲ得サルノ時機ニ当リテ其ノ一部ヲ棄テサルヲ得ス 國權ハ危難ノ時機ニ際シ國家及國民ヲ救済シテ其ノ存立ヲ保全スル為ニ唯一ノ必要アリト認ムルトキハ斷シテ法律及臣民權利ノ一部ヲ犠牲ニシテ以テ其ノ最大目的ヲ達セザルヘカラス此レ乃(すなわち)元首ノ權利ナルノミナラス亦(また)其ノ最大義務ナリ」

1 改正説(公解釈・佐々木惣一、大石義雄)

明治憲法73条の定める改正手続きに従い、日本政府が、自主的に制定した憲法だ、と説く。

*明治憲法73条「將來此ノ憲法ノ条項ヲ改正スルノ必要アルトキハ勅命ヲ以テ議案ヲ帝國議會ノ議ニ付スベシ」

「此ノ場合ニ於テ兩議院ハ各々其ノ総員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコト得ス 出席議員三分ノ二以上ノ多数ヲ得ルニ非サレハ改正ノ議決ヲ為スコトヲ得ス」

2 革命説(創始者は宮澤俊義東大教授・多教説)

日本は、「国民主権主義」を要求していた「ポツダム宣言」を、昭和20年8月14日、受諾した。日本では、その時点で「天皇主権」から「国民主権」へと、

「憲法上の革命」が行われている。現行憲法は、「革命」によって生まれ、と説く。

*ポツダム宣言 10項「日本国政府ハ日本国民ノ間ニオケル民主主義的

傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障礙(しょうがい)ヲ除去スベシ」

*ポツダム宣言12項「日本国民ノ自由ニ表明セル意志ニ從ヒ(中略)責任アル政府ガ樹立セラ

ルニ於テハ聯合國ノ占領軍ハ直ニ日本国ヨリ撤収セラルベシ」

3 無効説(井上李膺(たかまろ)、菅原 裕、南出喜久治)

現行憲法は、占領下、占領軍の強制により、憲法改正の限界を越えた「国体の変革」まで行っている。故に理論上は「無効」、但し、現実には「公けの権威の確立があるまでは憲法として受け取り」「これに恪循(かくじゆん)するを要する。」(井上李膺著『憲法研究』300頁)

4 非常大権説(小森義峯、里見岸雄、大串鬼代志)

ポツダム宣言は、明治憲法31条の非常大権の発動によって受諾された。その結果として、現行憲法が誕生した。但し、「国体法」は、天壤無窮のものであるから、「国体法」に反する現行憲法の規定は、すべて「無効」で、「政体法」的規定のみ有効、と説く。

*終戦の詔書の冒頭「朕(中略)非常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ(中略)帝國政府ヲシテ(中略)共同宣言(ポツダム宣言)ヲ受諾スル旨通告セシメタリ」

*明治憲法第31条「本章(第二章・国民権利義務)ニ掲ケタル条規ハ戦時又ハ国家事變ノ場合ニ於テ天皇大権ノ施行ヲ妨ケルコトナシ」

*憲法義解(キケ)(井上 毅(こわし)筆)による立法趣旨

「蓋(いだし)国家ノ最大目的ハ其ノ存立ヲ保持スルニ在リ 練熟ナル船長ハ覆没ヲ避ケ航路ノ生命ヲ救フニ必要ナルトキハ其ノ積荷ヲ海中ニ投棄セザルヘカラス良將ハ全軍ノ敗退ヲ避ケタル為ニ己ムヲ得サルノ時機ニ当リテ其ノ一部ヲ棄テサルヲ得ス 國權ハ危難ノ時機ニ際シ國家及國民ヲ救済シテ其ノ存立ヲ保全スル為ニ唯一ノ必要アリト認ムルトキハ斷シテ法律及臣民權利ノ一部ヲ犠牲ニシテ以テ其ノ最大目的ヲ達セザルヘカラス此レ乃(すなわち)元首ノ權利ナルノミナラス亦(また)其ノ最大義務ナリ」

「憲法上の革命」が行われている。現行憲法は、「革命」によって生まれ、と説く。

*ポツダム宣言 10項「日本国政府ハ日本国民ノ間ニオケル民主主義的

傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障礙(しょうがい)ヲ除去スベシ」

*ポツダム宣言12項「日本国民ノ自由ニ表明セル意志ニ從ヒ(中略)責任アル政府ガ樹立セラ

ルニ於テハ聯合國ノ占領軍ハ直ニ日本国ヨリ撤収セラルベシ」

謹んで震災のお見舞いを申し上げます。

東北関東大震災により亡くなられた方々に衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

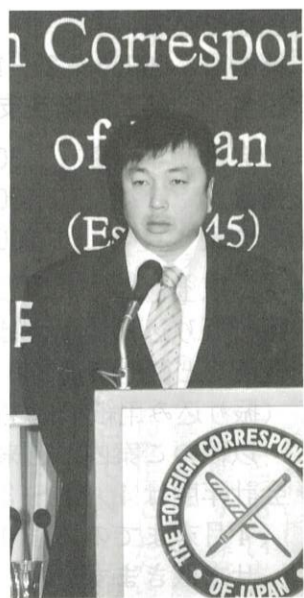
関西防衛を支える会 会員一同

写真は宮城県・東松島で遺体の収容にあたる自衛隊員



憂国の志士Sengoku38が吠える 尖閣映像流出の真相を語る

- 日時 平成23年4月30日(土曜日)受付開始13:00
14:00開演 16:00終了予定
- 講師 一色正春氏(43歳・元海上保安官)
- 演題 日本の国防について語る
- 会場 大阪商工会議所 国際ホール 大阪市中央区本町橋2-8
(地下鉄堺筋本町駅から徒歩8分 谷町線谷町4丁目駅から徒歩8分)
- 電話 06-6944-6268
- 参加費 2000円：チケットピア各店舗(Pコード619-044)セブンイレブン、サンクスなどで販売
- 電話予約 0570-02-9999
- 主催 私たちが選ぶ国民栄誉賞委員会
- 共催 関西防衛を支える会、経営者漁火会



「Correspondent of an (E) 45」

筆者略歴

大正12年佐賀県生、京都帝国大学法学部卒、海軍中尉、京都教育大学助教授、京都産業大学法学部教授、国士館大学大学院教授等歴任

- 二人の法学者の戦後 直 2面
- 星の流れに 小寺一矢 3面
- テレビは核兵器に勝る 立花孝志 4面
- 元NHK職員 立花孝志 4面
- 我が国のテロリズムは 松原好之 6面
- 神奈川農科大学教授 松原好之 6面
- 関防会議員列伝 7面

- 目次
- 二人の法学者の戦後 直 2面
- 星の流れに 小寺一矢 3面
- テレビは核兵器に勝る 立花孝志 4面
- 元NHK職員 立花孝志 4面
- 我が国のテロリズムは 松原好之 6面
- 神奈川農科大学教授 松原好之 6面
- 関防会議員列伝 7面

註1 天壤無窮の神勅

「豊原の千五百(ちいほ) 秋の瑞穂國は、是れ吾(あ)が子孫(うみのこ)の王(きみ)たるべき地なり。宜しく爾皇孫(いましめみま)就(ゆ)きて治(し)らせ。行(さき)ませ。宝(あま)祚(ひ)の隆(さか)えませむ」と、当(まさ)に天壤(あめつち)と窮(きわまり)なかるべし(日本書紀)

註2 国体法と政体法

国家の法体系を一本の本にたとえようと、「憲法は国家の根幹法」「国体法は根に当たる部分」「政体法は幹に当たる部分」ということになる。
*近代国家の政体は、原則として「立憲政体」(三権分立、議会制民主主義、人権尊重)を採る。

東京帝国大学法学部(古くは法科大学)。かつては日本の指導者を独占的に輩出した象牙の塔であり、英米のこの種名門大学がすべて私立であるのに対し、官学の牙城として今もその威光を失っていない。

しかしその卒業生が、すべて我が国をリードするに足る人材揃いであったかどうかについては、疑念なしとしない。著名な国際法の権威、或いは憲法の権威とされる次の両教授について、特に其の感を深くする。

東京大学教授 横田喜三郎氏(大正十一年卒)
東京大学教授 宮澤 俊義氏(大正十二年卒)

両氏に共通するのは三十代で学部教授に就任されていること、おそろしく秀才だったに違いない。そしてそれ以上にお二人に共通しているのが、日本の法学者として日本人としての自覚が、意識してか無意識のうちにか、欠如しつづけたことである。

かつて東京帝大には山川健次郎先生という偉大な先達が居られた。山川先生は東大以前の方である。改めて言うこともないが、会津藩の出身。明治四年エール大学に留学、帰国後東大の前身・開成学校の教授補に迎えられた。まさに東大開祖の一人であり、総長の職にも再度に就任された。山川先生の強固な愛國の精神は今も語り草になっているが、しかも先生は、たとえ左翼といえども信念固き学究には賞賛を惜しまぬ方でもあった。

東大においても教授間の対立は珍しくなく、美濃部達吉教授と上杉慎吉教授、河合栄治郎教授と土方成美教授など今も伝えられているが、いずれの諸先生方も日本人の誇りと、自説の正統性を信じて、学者の矜持をまっとうされたことでは共通していた。そこが前掲の両教授と異なる点であった。

宮澤俊義氏と八月革命説・歴史の断絶と伝統の虐殺に加担

戦後いち早く占領軍の走狗となつて「新」憲法制定の正当化の為に「八月革命説」を唱えたのが宮澤俊義氏であった。一説によると丸山真男氏の理論の踏襲であるともいわれるが(ここで丸山氏の亡くなられたときの朝日新聞の異常なまでの過剰報道を思い出されたい)、その根拠はポツダム宣言について、日本政府の「天皇の国家統治の大権に変更がないとの了解のもと」に受諾する、と一種の質問に対する回答「日本の最終的政治形態は、ポツダム宣言に依り、日本国民の自由表明される意志により決定される」ということ、で、統治の主体が移ったのだから「革命」だ、とこのことである。

革命とは本来民衆の意志を暴力的に貫徹する「儀式」、すなわち人民の蜂起、無政府状態の出現、そしてそれを

収集する新政府の設立、というプロセスの謂であつた。言うまでも無く昭和20年8月の我が国は、中央集権国家として単一政権によって統治され、有力な革命勢力など存在せず、議会は機能し、憲法は運用されていた。つまり堂々たる正常な国家であつて、一方ポツダム宣言とは戦いを終了させるための手続きに過ぎず、とても革命など恐れ入り、崇めたるべき性質のものではなかったのである。

更に付言すれば、世間ではポツダム宣言で無条件降伏したのだから当然だ、とよくいわれるが、「無条件降伏」したのは「日本軍」であつて、大日本帝国そのものではない。ここは占領軍によつて、巧妙・狡猾にすり替えられているが、今一度頭の中に入れておいた方がよいであろう。

敗戦後さまざまな形で占領軍との間に憲法改正についての協議が行われたが、最終的にはGHQの厲威が短期間でつちあげた現行憲法を採用せざるを得ず、日本国民は武力戦敗北の悔しさを再認識したのであつたが、中には日本人であることを忘れてはしやがずきた人たちがあつた。宮澤俊義氏もその一人であつた。

二人の法学者の戦後

近代史家 奥村 直

美濃部達吉博士であり、「新」憲法制定に痛憤して入水したのが清水澄博士であつた。どちらも宮澤俊義氏の大先輩であつたが、氏には何の感慨もなかったのであつた。ただ八月革命説に陶醉しておられたものであつた。

註*美濃部達吉・憲法学者、東大教授で天皇機関説を唱えた。後の東京都知事美濃部亮吉は息子。

この「占領軍による」「新」憲法制定は、占領地の既存法の尊重をうたったハーグ陸戦条約違反の疑いがある。占領軍とは地上制武力すなわち「陸軍」であるから陸戦条約に規定されている。ここで筆者は悪文の名の高い「新」憲法の前文を起草したのがGHQの某「海軍」中佐であつたことを想い出す。

「八月革命説」は「新」憲法制定の正当化だけではなく、日本のあらゆる階層に歴史の断絶、伝統の虐殺こそ正義である、と錯覚せしめた主犯ではなかつたか。高名な法学者が敗戦について「これこそ天佑」など云々論文を発表し、或る画家は美術界の「戦犯」探しに狂奔した。「八月革命説」はこれらの軽薄な輩にとつて、無二の理論的支柱となつたのであつた。

宮澤俊義氏にとつて、日本という悠久の歴史と、誇る

べき幾つかの伝統を今に伝える母国よりも、「革命」という二文字に価値を見出したのであつた。

大抵「革」とは、動物の皮の毛を毛取り取つて鞆革とする意であり、革の字のつく言葉には、ヴァンダの大虐殺に代表される「革命」、第一次近衛内閣の書記官長が提唱した「革新」(このお陰で日本は如何に酷い目にあつたか)、そして今も性懲りも無く言われる「改革」とロクな言葉はない。(その典型的なものが、あの意識改革という無責任な「標語」である。「標語」の害毒についてはフォン・ゼークトの簡明な論文がある。

註*風見 章・書記官長、第二次近衛内閣の司法大臣 昭和36年没(茨城県出身)

友愛外交という迷夢・学説ロンダリングの横田喜三郎最高裁長官

大審院長の時代を含め最高裁のトップには横田氏が三人居られる。初代横田氏は大正期の大審院長。そして横田喜三郎最高裁長官の後任横田正俊氏は大審院長横田秀雄氏の子息で喜三郎氏とは関係ないようだ。しかし横田という姓は、法学の世界では決して不利には働かなかつたであらう(余計なことだが)。

横田喜三郎氏は、戦前はマルクス主義に近い少壮学究として一部に知られていた。氏の東大教授昇格(昭和五年)後、東大最大の事件は昭和13年から14年にかけての「平賀爾学」であつたが、此の時横田教授ほどのような「働き」をされたか、当時の学部長田中耕太郎教授を支えたのか、筆者の手元の資料ではよくわからない。ただ、平賀爾学長官の信任篤く事態の收拾に当たつた田中学部長に対して、法学部内には支持する声は無かつた、といふから、横田教授もまた「反田中」だったのではなかつたか。後に田中耕太郎教授は横田喜三郎氏の前年の最高裁長官となり、共に文化勲章と勲一等を併せて叙勲されている。

田中耕太郎教授は敬虔な基督者として、強固な反共主義に徹しておられたのに比べ、横田氏は容共的であり、そつしてそれ以上に極端な親米主義者であつた、といふか、親米主義者に改宗した、というのが正確なのかも知れない。何れにしても戦後の横田喜三郎氏は正に米国ベツタの学者であり、一方的に近隣諸国に無用の色目を使つ、正に鳩山「友愛外交」の先駆者であつた。

註*平賀爾学。昭和14年、平賀爾・東京帝国大学学部長(海軍造

船中將)が経済学部の河合栄治郎(自由主義派・純理派)と土方成美(国家主義者・革新派)の両教授の派閥抗争を制する為、総長独断で両教授の休職処分を文部大臣に具申した結果、学部の自治と思想の自由が介入した、とされ東大の教授、助教授の辞任が相次いだ事件。

昭和25年、未だ占領下の頃、横田喜三郎氏の発表された「愛國と国際主義」という論文で氏は次のように述べた。

自国の利益や発達とともに、他の国のそれも進め、全体の共同生活を向上させるといふ行き方をとるべきである。それによつて、はじめて他の国の協力を求めることができ、そのもとに、全体の共同生活を向上させ、ひいては自国の利益と発達を進めることができるであらう云々。(原文のまま)

最近の報道に依れば、我が北方領土に共産中国の資本が投下されるといふ。日本はソ連の脅威に備え、防衛費を現在の二倍にし、とつとつと云々いって共産中国が、掌を返したように、である。しかも彼の国に日本はどの位物心両面の協力をしてきたことか(賠償放棄と云ふ日言に乗ることが如何に高くないか)。横田喜三郎氏の能天気な「国際主義」では国は滅びるといふ例である。我が国の主権を逐次近隣諸



国に委譲していく、という鳩山友愛外交の阿呆な無知・無恥の先駆者が横田論文であることと云つてもいいだろつ。更に付言すれば、横田喜三郎氏は強固な東京裁判擁護

論者であり、日本有罪論者であつた。前掲の著書には次のように記している。

この戦争(第二次大戦)では、アメリカのぎせいにおいてフィリピンを、イギリスやオランダのぎせいにおいて東南アジア地域を、フランスのぎせいにおいてフランス領印度支那を、ことごとく日本の勢力のもとにおくことを企てられた云々。(原文のまま)

米國ベツタの横田史観は、今ひともとても気恥ずかしさが先に立つ。筆者はイアン・ニッシュやクリストファー・アーンソン、エマーニエル・トッドなどの欧州の新進歴史学者の著書を読むたびに、我が横田喜三郎先生の単純愚昧な歴史認識を想起し、人知れず冷や汗の出る想いで

それにして、三十代で大日本帝国最高学府の教授となつた秀才が、と思う。恐ろしく横田喜三郎氏にとつては、この歴史認識も又世渡りの方便(流行語?)だったのかも知れない。しかし心ある国民は、この「識者」の軽佻浮薄な姿にひそかに奇異の感を抱き、怒りの反応を抑えていた。山田風太郎氏の『戦中派不戦日記』などを読めば、いや、当時、同時代を生きた者たちは同じ感を抱き、同じ反応を共有していたであらう。

戦後も終わり、叙勲栄典を受ける立場となつた横田喜三郎氏は、ご自分の過去の浄化に乗り出す。中西輝政・福田和也両氏の調査によれば、横田氏は旧著の回収を行ったと云つた。正にロンダリングである。そこには学究として自説を守る片鱗も見られない。山川健次郎先生在世ならば何と評されるであらうか。

失礼を顧みず言えは「世渡りのウイイ奴」といふことになるのだろつ。はしやがすきの八月革命論者、過去を洗浄できる、とした無責任学究、いずれも我が国の代表的知識人であり、指導者であつた。これを未曾有の困難に晒した仇花と見るか、我が国民の墮落の象徴と見るか。それに依つて我々の未来も変わっていくに違いない。

御入会の御願い

関西防衛を支える会では会員募集中です御入会御希望の方は下記口座にお振り込み下されば会員となります

三井住友銀行守口支店
普通口座 1261314
口座名 関西防衛を支える会
郵便振り込み
口座番号 00960-2-137035
口座名 関西防衛を支える会
一般会員 年会費 3000円
維持会員 々々 10000円
法人会員 々々 20000円

*1口以上何口でも申し受けます。銀行振り込みの場合は小会まで住所など御連絡下さるようお願いいたします。(振り込み用紙には住所の記入が無い為、以後のご案内が出来ませんので)。
*会計年度は4/1~3/31です(4月末までのお振り込みも新年度とさせていただきます)

昨年12月18日、大阪市中央区の難波神社で開催された「大和心のつどひ」例会で講演された小寺一矢弁護士(小会相談役)の講演要旨を紙上公開します。演題は「真正保守の大同団結」であったが編集子の独断で表題に変更した。

司会(吉村伊平氏)

元は北野村と申しまして百

帝国大学コンプレックス

祖父は大正時代に三高から東京大学の医学部に行っていたが、父は昭和10年代に同じく医者になったのですが、ただ祖父と違って、三高も落ちて、浪人は出来ない、という事で大阪高等医学専門学校、今の大阪医科大学に入ったのですが、それが父にとって終生のコンプレックスになったようです。従兄弟などは全て京大に行ったようですので、そういう親父の親族環境のもとで私は長男として生まれました。

小寺一矢氏

ただ今、吉村さんから御紹介頂きました小寺で御座います。本日は「大和心のつどひ」にお招き賜り有り難う御座います。今回が460回目という事で、長年に亘る開催に敬意を表します。ただテーマが「いまこそ真正保守の大同団結を」とのことです。御年配の方はご存じかも知れませんが戦前の学園の厳しさという現在の比喩もよく、親父にとって終生の仇だったようで、死ぬまで学園に恨み事を言っていました。

先程言いましたように親父は医学専門学校を出て、北野病院の整形外科の医局に入りましたが、初代の医局長が京大を出られた方で、親父は5年間医局におったのですが、京大を出た人が入局すると常に親父の先任に入る、医局の名札がいつも一番下だったとぼやいていました。専門学校卒と帝国大学卒との身分秩序が徹底していた時代だったんですね。

生まれは大阪の梅田で、昔の北野病院で、取り壊されましたが、この間まで私の生まれた部屋がありました。と言つても親父が医師でそこに勤務しておりました関係です。自宅は梅田の堂山町という、今は風俗の歓楽街になっていますが

を誘われたようです。それは京大出身の石井軍医中將が給水部隊という名目で満州で医学の研究をする事で募集されたようです。帝国大学医学部出身者には声をかけない。医専卒業者でやる気のある人達に「何でも出来るぞ」と連れて行ったようです。後年考えたら人体実験ですね、それに誘われた事があつたと言っています。

直立不動で親父のピンタ

物資を海中に投下して(陸地の兵が)陸揚げする。浜辺に集結した傷病兵を、今度言つたらアーン、つまり軽度の傷病兵を運別してマニラに連れ帰り治療して再度兵隊として使える者を選び、重症で回復の見込みのない兵隊は船に乗せない、浜辺で選別するのが軍医の仕事になっていたらしいです。蚕だのような船倉に収容して、それも無事に着けばよいのですが、雷撃を受けて沈没すれば傷病兵は

星の流れに

星の流れに

「こんな女に誰がした」の時代に生きて



小寺一矢氏(元大阪弁護士会会長)

戦死となる。一回目の時は親父は助かったが、二回目はマニラ湾で潜水艦に雷撃された時、船倉で兵隊の手当をしてい

戦後梅田で開業しましたが、父は曾根崎小学校に昭和23年に入学しました。中学は天満宮の横にある菅南中学校に通いました。皆さんご承知のように大阪駅前には特

この年、東大が大学闘争の為に3月の卒業式が実施されず、7月に卒業式をす

私は修習所23期で46年に弁護士になったのですが同期で最初に朝日新聞の一面に載ったのは仙谷でした。

直立不動で親父のピンタ 直立不動で親父のピンタ 直立不動で親父のピンタ 直立不動で親父のピンタ

親父がよく話していたのは、バラオの基地を出て明け方にニューギニアに着くと、ロープに縛られていた軍事

た良家の女性の「星の流れ」の混沌とした時代でした。朝鮮戦争が始まるとオンリーという女性も出て、パンパンとオンリーの違いを小

プは、いま東京高裁の長官をやっている阿部、それから仙台高裁から名古屋高裁の長官に代わった房村君や高検検事長クラスも皆、7

(4面に続く)

関防歴史勉強会

中島サロン 第29回 2月26日

ただ今、御紹介頂きました立花です。私はNHKで主に経理を担当してました。今、はやり内部告発などと言ったものを一部週刊誌を騒がせましたが、残念ながらテレビでは報道されていなかったので、皆さんご存じないかも知れません。

昨年、八尾の三宅博士の会合に久しぶりに参加させて頂きました。貴会の濱野会長から、是非うちでも話をしてくれと言われました。当時告発の反動で、病院に行くような落ち込みでした。そんなときに三宅先生や濱野会長から暖かい声をかけて頂き有り難く、元気が出たものです。

平成16年の7月に、NHK紅白歌合戦チームプロデューサーによる約2億円の横領事件があり、いわゆるNHKの不祥事の始まりがありました。このころから私はうつ病の兆候が出てきました。眠れない、食欲がない、背中が痛い等の得たのしれない症状で高熱が出て、最初は会社(NHK)休んでいたのですが、その後もNHKの不祥事がポロポロ出てきましたが、NHKがそれに対して発表する内容が嘘であり、重大な隠事であったりと言ったのが続きました。海老沢勝二さんと言った当時の会長が国会に参考人招致で呼ばれていきましたが国会で嘘の証言をしていました。私はその後、ずっと重い鬱病の状態を休職して自宅療養をしていました。

NHKの表・裏の経理を担当

ところが、その海老沢会長が不祥事の責任を取って辞任すると言った新聞報道が出て、すぐに顧問になったと報道されました。当時、僕はNHKの会長とも直接話をする関係でありましたので、海老沢さんは院政を敷くな、と思いました。僕はNHKで何億億円というお金を勘定する立場にありましたから、この人は引責辞任しても、この先NHKに関与して影響を及ぼして行くと、と確信しました。

そこで新聞報道と異なる点を日刊現代というタブロイド紙に電話して異なっているところを話しました。その後、それまで鬱病でもやっていたのが、何か肩の荷がおりたようにスーッとしてきました。今度はNHKの立花孝志さんと名乗り電話して詳細を語りますと紙面に載せてくれ、それに依って週刊文春とか週刊新潮など色々なメディアにNHKの実態を説明するようになったら、病もほとんど軽減されていくのを実感しました。

この行為は当然にNHK側に報復されます。1万2千人規模の組織ですが、僕はトップの方と言った会長と直接話を出来る立場にいました。それは経理と言った部門はお金の集まる所ですから必然に権力が集まります。裏金問題と言われますが、その裏金を作る才能が私にあったので

す。

何か問題が起これば、トラブルが発生すれば解決にお金が要りますから、立花に相談しろ、と言った立場になっていました。和歌山放送局がスタートしたが一本釣りで取り立てられ、最終的には会長の秘書的な仕事までするようになりました。NHKは公共放送として、若手の不祥事は許容されると、もみ消しに回っていたのです。

例えば派遣の女子事務員がパソコンにコピーをこぼしたりしても経理に言ってくる。海外でホテルの金庫に入れていた50万円ほど盗まれたりした場合、表向きの経理処理は出来ないで、こんな問題もNHKの裏経理で処理するのです。これはNHKだけでなく公務員組織だったら、正直に申告すれば責任を取らなければならぬ。出世に影響するのでも消せ、と言った指図が出ます。そのすると裏金がどうしても必要になる。それを捻出するには経理のシステムをしっかりと知って

いる人がやらないと、完全犯罪というか、きつちりとした裏金は作れないのです。そんな知恵を身につけた結果、NHKで、それなりの発言権を持つようになったり、それなりの情報を得るようになったのです。

公共放送と国営放送の違い

僕は早くから、そんな不正を知っていたのですが妻がいますから問題提起出来なかつたのです。そんな心理的な事でも病気になるのかな、と思っています。

NHKは公共放送と、言われていますが、公共放送と国営放送の違いが解りますか？。放送の形態は三つあるのです。一つは民間放送、一つは公共放送、一つは国営放送、この三つに大きく分かれれます。何が違うかと言いますと、財源が違います。国営と言ったのは、税金で運営されます。だから時の権力者の意向に沿った放送がされます。イラクのサダム政権がやっていた国営放送、北朝



元NHK職員 立花孝志氏

テレビは核兵器に勝る兵器だ

多くの人達はテレビで言っていることを信じている、と言っています。戦争だっただけのことではあるのです。核兵器より強いな、と。権力者にとっていかに大事な事かと実感しました。

そこで働くNHKの職員は、なおよさう一層高いモラルとか正義感を持たなければならぬ、と思っていたのですが、残念ながら私利私欲に走る職員達が沢山いて、現在のようにどこを向いて放送しているのか、誰の為に放送しているのか判然としない状態になってしまいました。公共放送で一番解り易いのは、イギリスのBBC放送ですね。BBCは同じく受信料で運営していますが最大の違いはNHKの受信料不払いには罰はないのですが、イギリスでは不払いには罰金を取られたり収監されます。

鮮の国営放送など、権力者にとって有利に放送されるのが国営放送です。民間放送は文字通りお金の儲けのためにします。スポンサーを募って、それが民間放送です。国営放送と公共放送は、正反対で相反しているのです。公共放送は、国家を監視する事を一番の目的として作られています。従って経営財源は受信料なんです。税金というのは、累進課税で、沢山儲けている人は沢山払わなければならないし、所得の低い人は払わなくても良いのです。しかし受信料と言ったのは、テレビを置いた人から公平にお金を貰う、どちらにも偏らない。庶民の為の放送・報道する、と言ったのが公共放送なんです。僕自身公共放送は素晴らしいものと思っていまして、多少の不正はもみ消した方が良く考えて一部悪事に手を染めてきた、と言った手紙を書きました。

演題の「テレビは核兵器に勝る兵器だ」と言ったのは僕がNHK東京の報道局にいるときに先輩に聞いた言葉です。一種、衝撃的な言葉で、我々が扱っている放送という商品はそのまま国民生活に直結しているのだ、影響しているのだ、テレビによって国民を洗脳しているのだ。

いわゆる刑事罰に問われる。それくらい厳しいのです。イギリスでは99%が受信料を払っているそうです。昨年イギリスのブラウン首相が襟のピンマイクを取り忘れ、支持者の太ったおばさんとの会話を設定した側面に「何だあんたへんてこのおばさんに会わなきゃ」とコメントした件がラジオで放送されました。イギリスの放送局が凄いの、時の権力者に絶対に媚びない事です。権力者の動向を最優先で国民に伝える事をチャーターズム魂としているイギリスでは国民は当然の事として受信料を払っているのです。BBCのスポンサーは国民である、と言った事が子供のころから教育されているイギリスならではの事です。これが本来あるべき公共放送の姿でしょう。

元海上保安官の 一色正春氏と 同年の正義の世代

僕が働いていたNHKでも、そうあるべきだと思っていたのですが、どうもそうでは無い。僕なりに内部の不正を文芸春秋等で告発して来ましたが、残念ながら誰もついて来ませんでした。僕のような意味で無鉄砲な職員を、陰で支えてくれる人はいたのですが表立って告発する人は出ていません。

今回、海上保安官の 一色正春さんが中国漁船の無法行為をビデオを流出させましたが、僕と同じような感覚ではなかったか、と思います。一色さんと同じ歳なんです。僕の年代はタイガーマスクとかデビルマン、仮面ライダー、宇宙戦艦ヤマト等のアニメで育った世代なんです。悪と勇敢に戦って最後は死んでいく、そういうヒーロー物語りを見て育った世代なんです。僕達の世代がもっと上の機密に触れる立場になってくれば、正義の告発する人達が増えてくるのでは、と期待しています。

次に、NHKと関係の深い大相撲の八百長事件とか、デジタル化とか裏金作り、関連会社設立などについて話します。

デジタル化の問題は、実は一番大事なことなんです。僕はNHKを批判していますが、批判だけでは無く、対策を準備しています。NHKの事は今でも好きなんです。が、しっかりと公共放送に戻ってほしいと思うから活動しています。

デジタル放送とは簡単に言えば、従来のアナログ放送の三倍になる、つまり電波の幅が三倍になるのです。(ここでも数字を挙げて説明があったが省略する) 例えは現在の道路幅を二車線に三車線、つまり普通自動車しか走れなかった道に大型トラックが走れるようになった、と言うものです。地上デジタル放送と言ったのは、総務省テレビ局が、一種国民を欺いているのです。

クロスオーナーシップの弊害

雑誌とか新聞と違って、公共の電波は公正中立を保ち放送しなければならない、と云う法律があるのです。現

(3面からの続き)

大阪で一番大きい事務所の所長の人でしたが、私に「あなた、東京ではどこに住むの？」と聞いたら「靖国神社の近くのマンションです」と言ったら「気持ち悪い」と言われた。そうゆう男です。その一言で解るから二年間、僕は一切支え無かった。

朝鮮学校の子マチャヨリ事件(朝鮮学校の生徒を侮辱したという事件)でも、丁度三陸沖にテポドンが打ち込まれた時でしたが弁護士会は人種差別、人権侵害と声明を出す事を迫るので、私は当時会長でしたが、我が国民を不当に拉致して返していないという事実を声明文に摘示した上で出すのなら良だろう、と言ったら取り下げられました。弁護士会は自国民の人権保護を第一に挙げるべきでね。

左に汚染される日弁連 大阪弁護士会の会長は日弁連の副会長を兼ねるので、私が副会長で行っているとき、18年の9月ころですが、私が副会長で行っているとき、18年の9月ころですが、私が副会長で行っているとき、18年の9月ころ

最後に締めると、保守とは何か。私の解釈は先祖や先輩が営々と築いて来られた大切なもの、家族、地域、そして国。その根底にあるのは我が国の場合には二千年皇室と言った事になりましょう。誇りをもち続け、これを受け継いで行くのが保守ではないか。これを子や孫に教える行かなければならない。政治家の皆さんは皆共有しているはずですよ。国を守る自衛隊を国防軍として位置づけ政治家は一致団結して欲しいものです。とりとめの無い話ですがこれで終わります。(大きい拍手)

21年22年の日弁連会長は在、地上テレビ局は七つしかチャンネルが出せないのですが、これが三倍の21チャンネルになると、と云う事です。この三倍になる電波を既得権益者であるNHKや民放は

が、地上テレビ局は七つしかチャンネルが出せないのですが、これが三倍の21チャンネルになると、と云う事です。この三倍になる電波を既得権益者であるNHKや民放は

NHKの偏向報道には「不払い」で応えよう

「公共放送」ではなく「公害放送」を垂れ流すNHKを追い詰めよう

公共放送法では「政治的に公平である」「報道は事実を曲げない」「意見が対立している問題に関しては、多角的に論点を明らかにする」と決められています。NHKはこれらすべてに違反しています。私たち国民の手で公共放送を正さなければ、子々孫々に重大な禍根を残すことになるでしょう。

手段として法的訴訟もさることながら皆様が今日から取りかかれる対策は「受信料の不払い」でしょう。受信料を自動引落としにしている人は、銀行窓口でNHKの口座振替を停止したい旨を述べ、手続きできます。暫くはNHKの集金人が督促に来ますが「放送の内容が放送法に違反しているので払いません」と言い続ければ、やがて来なくなるでしょう。

受信料不払いの資料をご希望の方は「維新政党・新風」

または下記にお問い合わせください

NHK報道を考える会 電話・FAX 03-5203-2226

維新政党新風京都事務所 電話 075-256-1545

FAX 075-241-2193

〒604-0912 京都市中京区二条通河原町東入

京都書店会館2F

尖閣を守れ！最前線の石垣市を激励する旅

■期間 6月3日(金)～5日(日) (2泊3日)

■Aコース(石垣たっぷりコース)6月3日6:25羽田発→石垣市(定員40名)

■Bコース(久松五勇士の足跡を辿るコース)6月3日6:55羽田発→宮古島市→18:05石垣市(定員16名)

■日程(以下はA・B共通)3日夜仲間市議他市の有力者との交流会(石垣市宿泊)/4日 石垣市→那覇市(那覇市宿泊)/5日 那覇市内観光(ひめゆりの塔、首里城、琉球村)→羽田着19:10

■料金 Aコース<一人部屋>8万4800円<二人部屋>6万8800円/Bコース<一人部屋>7万6000円<二人部屋>7万円(すべて朝食付、観光施設入場料込み)

■申込み・問い合わせ

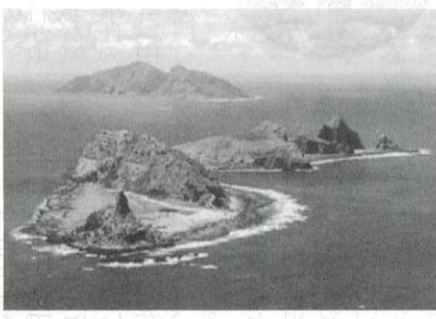
03-5640-2525

「にこにこツアーリスト」4月20日まで

関西防衛を支える会

TEL/FAX

06-4302-5187



「4面から続き」
手放したくないのです。例えば、余った電波を、今回の大相撲の八百長事件を報じた講談社がテレビのチャンネルを持って真実を報道したと、また文芸春秋とかフライングの各放送局は存立の危機に立つ訳です。
つまり新聞社がテレビ局を持っている事をクロスオーナーシップと云いますが世界中で日本だけなんです。そもそも新聞は版権から始まり権力を監視する役割を持っていたのです。だから欧米諸国は新聞社がテレビ局を持つと権力が集中してしまう、と云う事で法律で禁止しているのです。大阪で云うと、読売、朝日、産経、毎日、日経の新聞社が10、6、8、4、19のチャンネルを持っています。同じ資本の人がやっていますから自分らに不利な事は云わないのです。新聞もテレビも当然にデジタル化の情報を一方的にしか知らないのです。デジタル化すれば画面が綺麗になりますよ、と云われないのです。

デジタル化の真実
もっと民間に電波を解放したら良いのですが、今、コマシヤル市場は年間2兆円と云われています。この2兆円と云うのは増えません。ここに新しいテレビ局が参入すれば視聴率が分散して既存局はコマシヤル収入が減って困る訳です。だから今のテレビ・新聞は自分らに不利な事は報道しないのです。デジタル放送になればマックス21チャンネルになる、と云う事は覚えておいて下さい。

NHKは報道番組に徹せよ
このように、これまではテレビを置いたら払え、でしたが7月24日からはNHKに対してカードを提示してNHKは映らないようにしてくれ、と申し込めば、NHKは断れない、と考えます。テレビを置いていてもNHKは映らないのだから支払う必要はない事になります。NHK画面はスクランブルで真っ暗です。

NHKがなぜ傲慢なのかと云うのかと、お上ばかり見て視聴者を見ていないのです。どんな悪いことをしても政治家にゴマを擦って、彼らの悪口を言わなければ予算が通り、法律を改正される事はないのです。このように技術革新でテレビが大きく変わるという時に放送法が改正されないのです。しかし具体的にNHKに物言える時代が7月に到来するのです、僕は先頭を切つてやろうと考えています。
受信料と云うのは、公共料金というのとは使った分だけ払うと云うのが普通ですね。NHKの年間予算は6500億円くらいです。番組制作費と云うのは質を落としたり別ですが基本的には同じなんです。いま払っている人は1345円で、衛星放送契約に変えさせられた人は、さらに945円上乗せさせられて2300円位払っているんです。
ここでカード番号によってスクランブルをかける事を認めさせれば、間違いなくNHKは収入が減り財政難に落ち番組を圧縮するしか方法がなくなるのです。NHKに求められる番組は報道なんです、ドラマとか映画、スポーツなどはお金が掛かるのです。そんな番組はカットしていけばいいのです。特に今のNHKは記者クラブに詰めて、聞いて流すだけだから御用放送です。
因に大阪では受信料を払っている世帯は4分の1です。NHKは70%と云っていますが大阪は特に低いです。全

世帯が払えば月額1000円で賄える計算になり、それが裁判したのですが司法の判断は、それは立法府が決める事だと言った判決でした。司法としては著しく合理性に欠けていなければ原告に有利な判決は出せない、と云うことでした。
講師プロフィール
昭和42年、大阪生。大阪府立信高高校卒業後NHKに入局。和歌山放送局、大阪放送局、東京本部報道局・編成局で勤務。平成17年4月、週刊文春で内部告発して依願退職。現在チャンネル桜に出演したりNHKが係争している裁判に積極的に協力している。
2月26日、関西歴史勉強会中島サロンの講演要旨です。(文責・新川)

第30回 関防会歴史勉強会 中島サロンの御案内

期日 平成23年4月9日(土) 午後4時開始
演題 抑止力とは何か
米国の長期的軍事戦略展望
講師 中村好寿氏 (防衛大学9期)

昭和18年広島県生、陸上自衛隊入隊(普通科)、米国スタンフォード大学大学院、陸自幹部学校戦略教官、東北方面総監部幕僚、ジョージア工科大学客員教授等『2020年の軍事力』など多数発刊

期日 平成23年6月11日(土) 午後4時開始
演題 大嵌(おおは)めに嵌(は)められた日本
講師 若狭朋和氏 (教育学博士)

昭和17年福岡県生、九州大学法学部卒、岐阜県下の県立高校教師を平成15年定年退職、現在、人間環境大学講師『日本人が知ってはならない歴史 全3巻』など著書多数

会場 錦城閣 ☎06-6941-2185
地下鉄谷町線、京阪電車天満橋駅下車直上
キャッスルホテル3F (中国料理店)

会費 5,000円
(中華料理と酒代含む)

備考 自由出席ですが下記へFAXを頂けたら幸いです
FAX 06-4302-5187
(関防会)

テロリズムは、わが国においていろいろな名を変え形を変えて、いわゆる困難の時期に起る。

一方で、アラブ世界の反米自爆テロにも伝播したことには注目したい。

山口二矢の浅沼社会党委員長刺殺テロと獄中の絵死から50年、三島由紀夫の市ヶ谷自衛隊駐屯地における自決テロから40年を経た。

三島の自決テロに対し、新左翼の教祖だった滝田修は、「わが方にも三島のような烈士がほしい」とつぶやいた。

「殺し人」とか、「自殺」などといった平たい言葉で片付けられるものと、人間の気高い魂の彷徨の果てに決起するに至った営みとしてのそれとを、後者を「テロリズム」と名付けることと峻別しなければならぬ。

明治以降近代国家へと姿貌を遂げていく中で、わが国は幾多の困難があったが、その節目節目には、大小さまざまなテロが行われた。

テロによって節目が形成されたとも言える。多くは、「右」にやる、「右」からのテロである。

第一次大戦から大東亜戦争へと突入していく際の困難状況にあったのは、5・15事件や2・26事件があり、とくに後者は戦後の三島由紀夫と、その自決「テロ」に強い影響を与え、いわば、テロがテロを生むかたちになった。

70年代80年代新左翼は、いわゆる内ゲバに明け暮れる時代となった。革共同派である中核派と革マル派それに社会解放派(革労協)による、相手への殲滅戦は、100人近い死者と2000人を越える負傷者をかぞえているが、その下手人の多くは今のところ逮捕されておらず、おそろくは市民の中に埋もれて、撲殺の記憶を「どういうわけか、彼らの内ゲバは、鉄パイプとボールによる頭蓋骨がち割り撲殺という体裁がほとんどであった。掌に残して生活している。つまり、名もなから闇から闇へ

と消えていった彼らのテロリズムは、いまだ彼らの掌の外のどこへも流れていない。テロリストは、テロの瞬間に光芒を放ち、その瞬間の光芒が後世の人々に残る映像のように影響を残す。それはテロリストが、テロの直後に自らも死ぬから。死ぬから「生命」よりも大きな存在のために生きたことが明かされ、後世の人々にはこれほどの価値観が播きまわられ、深甚の影響を受けるのだ。

市井に潜むテロリスト群像

完全黙秘を貫くことができない。山ほどある言いたいことをぶちまけた。少年の時は、俺は皇居に行った気がして、さびしかった。

私は昭和27年岐阜県益田郡(現下呂市)金山町という今で言う過疎の町に生まれました。祖母が百姓をしており、おばあちゃん子だった私は、大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)に入った後、三里塚闘争(成田空港反対闘争)に参加しました。そして、昭和53年、卒業直後に行った管制塔突入闘争、いわゆる78年3・26闘争で、あえなく逮捕されました。

たどって、何と、第3回する文学賞に当選してしまわなかった。執行猶予中にもかかわらず、「作家」の肩書を持つことになりました。『京都よ、わが情念のはるかな飛翔をせよ』という長い、自分でも舌を噛みそうなるタイトルで、自身の京都での浪人時代を回想して書いたものでした。今は絶版です。

書いかけたくなったのは、私を取り調べた千葉地方検察庁検事のTという私より6つか7つ年上の男の言葉でした。「お前、文学的センスあるな。なら、書けよ。過激派みたくヘルムットマスクで顔を隠し、闇

ら武闘派のほうが好きだ。このTという検事はこうも言いました。「おれもやはり、口舌の徒よ、お前ら武闘派のほうが好きだ。おもしろいその検事は、上記の言葉を吐いたのです。は、私を取り調べた千葉地方検察庁検事のTという私より6つか7つ年上の男の言葉でした。「お前、文学的センスあるな。なら、書けよ。過激派みたくヘルムットマスクで顔を隠し、闇

真真正正右翼とは

必死に自分の体をロープに結び付けて拒んでいるうち、指が凍傷でポロポロ落ちたにもかかわらず、まだ降りてくることを拒んでいたんです。ところが最後にたつて、反対同盟のおつかあに、泣かれながら「もういいよ。あんたのおかげで私ら助かったよ。もういいよ。降らせてきなよ。」の一言をもらってやっと降りてきて、にやりと笑って手錠をかけた。というところもなかなかいい男の中の男で、T検事が言うように、そいつが右翼だった、ということは、自分で自分を左翼だと思っていた私には、いさかショックでした。

三島由紀夫が自決したとき、新左翼のカリスマ教祖滝田修が、「わが左翼にも三島のような烈士がほしい」と言った言葉の裏返しのようなものもあり、なんだかどうもななく気が悪かったのを覚えていて。

T検事は、やがてヤメ検弁護士、腕の立つ弁護士になり、私の処女作『京都よ、わが情念のはるかな飛翔をせよ』が本になった時、一番最初に贈った一人になりました。

一日会の中村さんや、中山先生は、20年ほど前に、私が今も勤める河合塾大阪校で「左右激突討論会」というイベントを企画し、私自身が司会を務めさせていただいたとき、お世話になった方々です。このイベントは、7、8年続きました。左からは、元赤軍派の塩野孝也議長、右からは、一水会の鈴木邦男代表がメインゲストで来ていたとき、その年によって、中山先生

はじめいろいろな方に出ていただき、若く多感な浪人生たちに深甚の影響を与えました。やがて、テレビで「朝まで生テレビ」が始まって、「右翼特集」が組まれたり、ゲストで招んだ漫画家の小林よしのりさんが、参加以来、生徒たちの熱気に押されるかたちでオウム事件に取り組み始め、坂本弁護士事件の解決につながったこともありましたし、グリコ森永事件の犯人と目されたキツネ目の男と宮崎孝さんは、年収一億、借金三十億、貯金ゼロ、愛人五人を堂々と発言され、生徒はその一つ一つに深いため息をつきました。また河合塾に集った反日講師、及びその追随職員の影響にもかかわらず、関西の教育機関で初めて拉致被害者の一人運池透さんをお招きしたときには、あちこちの高校の先生から多くのメールをいただき、河合塾こそ真の教育機関だ、なんて言われました。先生方も日ごろからよほど日教組にえらい目にあわされてるんですね(笑)。

根も葉もないうわさにつきないかもよ。でも、これは、人が、テロに何か「魂の伝播」を探している証人ではないでしょうか。昔創価学会の友人から、映画「人間革命」を勧められて観たことがあり、たいそう感動した覚えがありました。そこでは、主人公「戸田城聖」が日の昇るのを見て、「形なく大ききもの」生命こそ最も尊いものだ、と確然と認識するシーンがあり、「生命」を尊ぶ宗教の素晴らしさに心打たれました。しかし、また別の機会に、三島由紀夫の「春の雪」三部作の中に「雪」を「刀を腹に突き立てた時、日は喉の裏に、嘸突(かくやく)と昇った」に接した時の、究極の存在だったはずの「生命」をさらに超えた存在すなわち、霊性(スピリチュアリティ)を感得した時の、とてもない感動ほど大きなものはありませんでした。

日蓮宗の名だたる宗教者の霊性を上回る三島由紀夫の霊性。彼の作品が読まれ続け、また、どこかでテロリズムというかたちでその魂を受け継がれ続けるのは、彼のその「魂の裏に嘸突と昇った」生命を越えたものの存在「霊性」のせいではないでしょうか。

学校の先生にお願いしませんが、どうか、生徒の修学旅行先を靖国神社に、という義務付けをお願いしたいと思ひます。三島作品を読めるようになる前に、靖国神社で、そんなに年の変わらぬままこの国のために散華した先達たちの魂に触れて、日本人の霊性に近づいて、瞬間を共有することこそ、真の教育だと思ひます。

死ななかったテロリストはどうなるのか。

逮捕、起訴 転向の心緒

さらにも知られず生きること余儀なくされていることほど辛いことなか。

「左」から「右」へと転向した内ゲバテロリスト見沼知憲は自死した。

相手党派のメンバーの頭蓋骨をたたき割ることをのみこととした中核派革命軍、革マル派JAC、革労協、殊部隊と称する、数十人のテロリスト群像が今どこで何をしているか。さまざまえ

死ななかったテロリストは、彼らの魂を誰がどう抱きとめるか。以上を主題に、私の生い立ちから語らせていただきたいと思います。

私は昭和27年岐阜県益田郡(現下呂市)金山町という今で言う過疎の町に生まれました。祖母が百姓をしており、おばあちゃん子だった私は、大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)に入った後、三里塚闘争(成田空港反対闘争)に参加しました。そして、昭和53年、卒業直後に行った管制塔突入闘争、いわゆる78年3・26闘争で、あえなく逮捕されました。

真真正正右翼とは

必死に自分の体をロープに結び付けて拒んでいるうち、指が凍傷でポロポロ落ちたにもかかわらず、まだ降りてくることを拒んでいたんです。ところが最後にたつて、反対同盟のおつかあに、泣かれながら「もういいよ。あんたのおかげで私ら助かったよ。もういいよ。降らせてきなよ。」の一言をもらってやっと降りてきて、にやりと笑って手錠をかけた。というところもなかなかいい男の中の男で、T検事が言うように、そいつが右翼だった、ということは、自分で自分を左翼だと思っていた私には、いさかショックでした。

三島由紀夫が自決したとき、新左翼のカリスマ教祖滝田修が、「わが左翼にも三島のような烈士がほしい」と言った言葉の裏返しのようなものもあり、なんだかどうもななく気が悪かったのを覚えていて。

T検事は、やがてヤメ検弁護士、腕の立つ弁護士になり、私の処女作『京都よ、わが情念のはるかな飛翔をせよ』が本になった時、一番最初に贈った一人になりました。

一日会の中村さんや、中山先生は、20年ほど前に、私が今も勤める河合塾大阪校で「左右激突討論会」というイベントを企画し、私自身が司会を務めさせていただいたとき、お世話になった方々です。このイベントは、7、8年続きました。左からは、元赤軍派の塩野孝也議長、右からは、一水会の鈴木邦男代表がメインゲストで来ていたとき、その年によって、中山先生

はじめいろいろな方に出ていただき、若く多感な浪人生たちに深甚の影響を与えました。やがて、テレビで「朝まで生テレビ」が始まって、「右翼特集」が組まれたり、ゲストで招んだ漫画家の小林よしのりさんが、参加以来、生徒たちの熱気に押されるかたちでオウム事件に取り組み始め、坂本弁護士事件の解決につながったこともありましたし、グリコ森永事件の犯人と目されたキツネ目の男と宮崎孝さんは、年収一億、借金三十億、貯金ゼロ、愛人五人を堂々と発言され、生徒はその一つ一つに深いため息をつきました。また河合塾に集った反日講師、及びその追随職員の影響にもかかわらず、関西の教育機関で初めて拉致被害者の一人運池透さんをお招きしたときには、あちこちの高校の先生から多くのメールをいただき、河合塾こそ真の教育機関だ、なんて言われました。先生方も日ごろからよほど日教組にえらい目にあわされてるんですね(笑)。

根も葉もないうわさにつきないかもよ。でも、これは、人が、テロに何か「魂の伝播」を探している証人ではないでしょうか。昔創価学会の友人から、映画「人間革命」を勧められて観たことがあり、たいそう感動した覚えがありました。そこでは、主人公「戸田城聖」が日の昇るのを見て、「形なく大ききもの」生命こそ最も尊いものだ、と確然と認識するシーンがあり、「生命」を尊ぶ宗教の素晴らしさに心打たれました。しかし、また別の機会に、三島由紀夫の「春の雪」三部作の中に「雪」を「刀を腹に突き立てた時、日は喉の裏に、嘸突(かくやく)と昇った」に接した時の、究極の存在だったはずの「生命」をさらに超えた存在すなわち、霊性(スピリチュアリティ)を感得した時の、とてもない感動ほど大きなものはありませんでした。

日蓮宗の名だたる宗教者の霊性を上回る三島由紀夫の霊性。彼の作品が読まれ続け、また、どこかでテロリズムというかたちでその魂を受け継がれ続けるのは、彼のその「魂の裏に嘸突と昇った」生命を越えたものの存在「霊性」のせいではないでしょうか。

学校の先生にお願いしませんが、どうか、生徒の修学旅行先を靖国神社に、という義務付けをお願いしたいと思ひます。三島作品を読めるようになる前に、靖国神社で、そんなに年の変わらぬままこの国のために散華した先達たちの魂に触れて、日本人の霊性に近づいて、瞬間を共有することこそ、真の教育だと思ひます。

死ななかったテロリストは、彼らの魂を誰がどう抱きとめるか。以上を主題に、私の生い立ちから語らせていただきたいと思います。

私は昭和27年岐阜県益田郡(現下呂市)金山町という今で言う過疎の町に生まれました。祖母が百姓をしており、おばあちゃん子だった私は、大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)に入った後、三里塚闘争(成田空港反対闘争)に参加しました。そして、昭和53年、卒業直後に行った管制塔突入闘争、いわゆる78年3・26闘争で、あえなく逮捕されました。

真真正正右翼とは

必死に自分の体をロープに結び付けて拒んでいるうち、指が凍傷でポロポロ落ちたにもかかわらず、まだ降りてくることを拒んでいたんです。ところが最後にたつて、反対同盟のおつかあに、泣かれながら「もういいよ。あんたのおかげで私ら助かったよ。もういいよ。降らせてきなよ。」の一言をもらってやっと降りてきて、にやりと笑って手錠をかけた。というところもなかなかいい男の中の男で、T検事が言うように、そいつが右翼だった、ということは、自分で自分を左翼だと思っていた私には、いさかショックでした。

三島由紀夫が自決したとき、新左翼のカリスマ教祖滝田修が、「わが左翼にも三島のような烈士がほしい」と言った言葉の裏返しのようなものもあり、なんだかどうもななく気が悪かったのを覚えていて。

T検事は、やがてヤメ検弁護士、腕の立つ弁護士になり、私の処女作『京都よ、わが情念のはるかな飛翔をせよ』が本になった時、一番最初に贈った一人になりました。

一日会の中村さんや、中山先生は、20年ほど前に、私が今も勤める河合塾大阪校で「左右激突討論会」というイベントを企画し、私自身が司会を務めさせていただいたとき、お世話になった方々です。このイベントは、7、8年続きました。左からは、元赤軍派の塩野孝也議長、右からは、一水会の鈴木邦男代表がメインゲストで来ていたとき、その年によって、中山先生

はじめいろいろな方に出ていただき、若く多感な浪人生たちに深甚の影響を与えました。やがて、テレビで「朝まで生テレビ」が始まって、「右翼特集」が組まれたり、ゲストで招んだ漫画家の小林よしのりさんが、参加以来、生徒たちの熱気に押されるかたちでオウム事件に取り組み始め、坂本弁護士事件の解決につながったこともありましたし、グリコ森永事件の犯人と目されたキツネ目の男と宮崎孝さんは、年収一億、借金三十億、貯金ゼロ、愛人五人を堂々と発言され、生徒はその一つ一つに深いため息をつきました。また河合塾に集った反日講師、及びその追随職員の影響にもかかわらず、関西の教育機関で初めて拉致被害者の一人運池透さんをお招きしたときには、あちこちの高校の先生から多くのメールをいただき、河合塾こそ真の教育機関だ、なんて言われました。先生方も日ごろからよほど日教組にえらい目にあわされてるんですね(笑)。

根も葉もないうわさにつきないかもよ。でも、これは、人が、テロに何か「魂の伝播」を探している証人ではないでしょうか。昔創価学会の友人から、映画「人間革命」を勧められて観たことがあり、たいそう感動した覚えがありました。そこでは、主人公「戸田城聖」が日の昇るのを見て、「形なく大ききもの」生命こそ最も尊いものだ、と確然と認識するシーンがあり、「生命」を尊ぶ宗教の素晴らしさに心打たれました。しかし、また別の機会に、三島由紀夫の「春の雪」三部作の中に「雪」を「刀を腹に突き立てた時、日は喉の裏に、嘸突(かくやく)と昇った」に接した時の、究極の存在だったはずの「生命」をさらに超えた存在すなわち、霊性(スピリチュアリティ)を感得した時の、とてもない感動ほど大きなものはありませんでした。

日蓮宗の名だたる宗教者の霊性を上回る三島由紀夫の霊性。彼の作品が読まれ続け、また、どこかでテロリズムというかたちでその魂を受け継がれ続けるのは、彼のその「魂の裏に嘸突と昇った」生命を越えたものの存在「霊性」のせいではないでしょうか。

学校の先生にお願いしませんが、どうか、生徒の修学旅行先を靖国神社に、という義務付けをお願いしたいと思ひます。三島作品を読めるようになる前に、靖国神社で、そんなに年の変わらぬままこの国のために散華した先達たちの魂に触れて、日本人の霊性に近づいて、瞬間を共有することこそ、真の教育だと思ひます。

死ななかったテロリストは、彼らの魂を誰がどう抱きとめるか。以上を主題に、私の生い立ちから語らせていただきたいと思います。

私は昭和27年岐阜県益田郡(現下呂市)金山町という今で言う過疎の町に生まれました。祖母が百姓をしており、おばあちゃん子だった私は、大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)に入った後、三里塚闘争(成田空港反対闘争)に参加しました。そして、昭和53年、卒業直後に行った管制塔突入闘争、いわゆる78年3・26闘争で、あえなく逮捕されました。

真真正正右翼とは

必死に自分の体をロープに結び付けて拒んでいるうち、指が凍傷でポロポロ落ちたにもかかわらず、まだ降りてくることを拒んでいたんです。ところが最後にたつて、反対同盟のおつかあに、泣かれながら「もういいよ。あんたのおかげで私ら助かったよ。もういいよ。降らせてきなよ。」の一言をもらってやっと降りてきて、にやりと笑って手錠をかけた。というところもなかなかいい男の中の男で、T検事が言うように、そいつが右翼だった、ということは、自分で自分を左翼だと思っていた私には、いさかショックでした。

三島由紀夫が自決したとき、新左翼のカリスマ教祖滝田修が、「わが左翼にも三島のような烈士がほしい」と言った言葉の裏返しのようなものもあり、なんだかどうもななく気が悪かったのを覚えていて。

T検事は、やがてヤメ検弁護士、腕の立つ弁護士になり、私の処女作『京都よ、わが情念のはるかな飛翔をせよ』が本になった時、一番最初に贈った一人になりました。

一日会の中村さんや、中山先生は、20年ほど前に、私が今も勤める河合塾大阪校で「左右激突討論会」というイベントを企画し、私自身が司会を務めさせていただいたとき、お世話になった方々です。このイベントは、7、8年続きました。左からは、元赤軍派の塩野孝也議長、右からは、一水会の鈴木邦男代表がメインゲストで来ていたとき、その年によって、中山先生

はじめいろいろな方に出ていただき、若く多感な浪人生たちに深甚の影響を与えました。やがて、テレビで「朝まで生テレビ」が始まって、「右翼特集」が組まれたり、ゲストで招んだ漫画家の小林よしのりさんが、参加以来、生徒たちの熱気に押されるかたちでオウム事件に取り組み始め、坂本弁護士事件の解決につながったこともありましたし、グリコ森永事件の犯人と目されたキツネ目の男と宮崎孝さんは、年収一億、借金三十億、貯金ゼロ、愛人五人を堂々と発言され、生徒はその一つ一つに深いため息をつきました。また河合塾に集った反日講師、及びその追随職員の影響にもかかわらず、関西の教育機関で初めて拉致被害者の一人運池透さんをお招きしたときには、あちこちの高校の先生から多くのメールをいただき、河合塾こそ真の教育機関だ、なんて言われました。先生方も日ごろからよほど日教組にえらい目にあわされてるんですね(笑)。

根も葉もないうわさにつきないかもよ。でも、これは、人が、テロに何か「魂の伝播」を探している証人ではないでしょうか。昔創価学会の友人から、映画「人間革命」を勧められて観たことがあり、たいそう感動した覚えがありました。そこでは、主人公「戸田城聖」が日の昇るのを見て、「形なく大ききもの」生命こそ最も尊いものだ、と確然と認識するシーンがあり、「生命」を尊ぶ宗教の素晴らしさに心打たれました。しかし、また別の機会に、三島由紀夫の「春の雪」三部作の中に「雪」を「刀を腹に突き立てた時、日は喉の裏に、嘸突(かくやく)と昇った」に接した時の、究極の存在だったはずの「生命」をさらに超えた存在すなわち、霊性(スピリチュアリティ)を感得した時の、とてもない感動ほど大きなものはありませんでした。

日蓮宗の名だたる宗教者の霊性を上回る三島由紀夫の霊性。彼の作品が読まれ続け、また、どこかでテロリズムというかたちでその魂を受け継がれ続けるのは、彼のその「魂の裏に嘸突と昇った」生命を越えたものの存在「霊性」のせいではないでしょうか。

学校の先生にお願いしませんが、どうか、生徒の修学旅行先を靖国神社に、という義務付けをお願いしたいと思ひます。三島作品を読めるようになる前に、靖国神社で、そんなに年の変わらぬままこの国のために散華した先達たちの魂に触れて、日本人の霊性に近づいて、瞬間を共有することこそ、真の教育だと思ひます。

死ななかったテロリストは、彼らの魂を誰がどう抱きとめるか。以上を主題に、私の生い立ちから語らせていただきたいと思います。

私は昭和27年岐阜県益田郡(現下呂市)金山町という今で言う過疎の町に生まれました。祖母が百姓をしており、おばあちゃん子だった私は、大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)に入った後、三里塚闘争(成田空港反対闘争)に参加しました。そして、昭和53年、卒業直後に行った管制塔突入闘争、いわゆる78年3・26闘争で、あえなく逮捕されました。

真真正正右翼とは

必死に自分の体をロープに結び付けて拒んでいるうち、指が凍傷でポロポロ落ちたにもかかわらず、まだ降りてくることを拒んでいたんです。ところが最後にたつて、反対同盟のおつかあに、泣かれながら「もういいよ。あんたのおかげで私ら助かったよ。もういいよ。降らせてきなよ。」の一言をもらってやっと降りてきて、にやりと笑って手錠をかけた。というところもなかなかいい男の中の男で、T検事が言うように、そいつが右翼だった、ということは、自分で自分を左翼だと思っていた私には、いさかショックでした。

三島由紀夫が自決したとき、新左翼のカリスマ教祖滝田修が、「わが左翼にも三島のような烈士がほしい」と言った言葉の裏返しのようなものもあり、なんだかどうもななく気が悪かったのを覚えていて。

T検事は、やがてヤメ検弁護士、腕の立つ弁護士になり、私の処女作『京都よ、わが情念のはるかな飛翔をせよ』が本になった時、一番最初に贈った一人になりました。

一日会の中村さんや、中山先生は、20年ほど前に、私が今も勤める河合塾大阪校で「左右激突討論会」というイベントを企画し、私自身が司会を務めさせていただいたとき、お世話になった方々です。このイベントは、7、8年続きました。左からは、元赤軍派の塩野孝也議長、右からは、一水会の鈴木邦男代表がメインゲストで来ていたとき、その年によって、中山先生

はじめいろいろな方に出ていただき、若く多感な浪人生たちに深甚の影響を与えました。やがて、テレビで「朝まで生テレビ」が始まって、「右翼特集」が組まれたり、ゲストで招んだ漫画家の小林よしのりさんが、参加以来、生徒たちの熱気に押されるかたちでオウム事件に取り組み始め、坂本弁護士事件の解決につながったこともありましたし、グリコ森永事件の犯人と目されたキツネ目の男と宮崎孝さんは、年収一億、借金三十億、貯金ゼロ、愛人五人を堂々と発言され、生徒はその一つ一つに深いため息をつきました。また河合塾に集った反日講師、及びその追随職員の影響にもかかわらず、関西の教育機関で初めて拉致被害者の一人運池透さんをお招きしたときには、あちこちの高校の先生から多くのメールをいただき、河合塾こそ真の教育機関だ、なんて言われました。先生方も日ごろからよほど日教組にえらい目にあわされてるんですね(笑)。

根も葉もないうわさにつきないかもよ。でも、これは、人が、テロに何か「魂の伝播」を探している証人ではないでしょうか。昔創価学会の友人から、映画「人間革命」を勧められて観たことがあり、たいそう感動した覚えがありました。そこでは、主人公「戸田城聖」が日の昇るのを見て、「形なく大ききもの」生命こそ最も尊いものだ、と確然と認識するシーンがあり、「生命」を尊ぶ宗教の素晴らしさに心打たれました。しかし、また別の機会に、三島由紀夫の「春の雪」三部作の中に「雪」を「刀を腹に突き立てた時、日は喉の裏に、嘸突(かくやく)と昇った」に接した時の、究極の存在だったはずの「生命」をさらに超えた存在すなわち、霊性(スピリチュアリティ)を感得した時の、とてもない感動ほど大きなものはありませんでした。

日蓮宗の名だたる宗教者の霊性を上回る三島由紀夫の霊性。彼の作品が読まれ続け、また、どこかでテロリズムというかたちでその魂を受け継がれ続けるのは、彼のその「魂の裏に嘸突と昇った」生命を越えたものの存在「霊性」のせいではないでしょうか。

学校の先生にお願いしませんが、どうか、生徒の修学旅行先を靖国神社に、という義務付けをお願いしたいと思ひます。三島作品を読めるようになる前に、靖国神社で、そんなに年の変わらぬままこの国のために散華した先達たちの魂に触れて、日本人の霊性に近づいて、瞬間を共有することこそ、真の教育だと思ひます。

死ななかったテロリストは、彼らの魂を誰がどう抱きとめるか。以上を主題に、私の生い立ちから語らせていただきたいと思います。

私は昭和27年岐阜県益田郡(現下呂市)金山町という今で言う過疎の町に生まれました。祖母が百姓をしており、おばあちゃん子だった私は、大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)に入った後、三里塚闘争(成田空港反対闘争)に参加しました。そして、昭和53年、卒業直後に行った管制塔突入闘争、いわゆる78年3・26闘争で、あえなく逮捕されました。

真真正正右翼とは

必死に自分の体をロープに結び付けて拒んでいるうち、指が凍傷でポロポロ落ちたにもかかわらず、まだ降りてくることを拒んでいたんです。ところが最後にたつて、反対同盟のおつかあに、泣かれながら「もういいよ。あんたのおかげで私ら助かったよ。もういいよ。降らせてきなよ。」の一言をもらってやっと降りてきて、にやりと笑って手錠をかけた。というところもなかなかいい男の中の男で、T検事が言うように、そいつが右翼だった、ということは、自分で自分を左翼だと思っていた私には、いさかショックでした。

三島由紀夫が自決したとき、新左翼のカリスマ教祖滝田修が、「わが左翼にも三島のような烈士がほしい」と言った言葉の裏返しのようなものもあり、なんだかどうもななく気が悪かったのを覚えていて。

T検事は、やがてヤメ検弁護士、腕の立つ弁護士になり、私の処女作『京都よ、わが情念のはるかな飛翔をせよ』が本になった時、一番最初に贈った一人になりました。

一日会の中村さんや、中山先生は、20年ほど前に、私が今も勤める河合塾大阪校で「左右激突討論会」というイベントを企画し、私自身が司会を務めさせていただいたとき、お世話になった方々です。このイベントは、7、8年続きました。左からは、元赤軍派の塩野孝也議長、右からは、一水会の鈴木邦男代表がメインゲストで来ていたとき、その年によって、中山先生

はじめいろいろな方に出ていただき、若く多感な浪人生たちに深甚の影響を与えました。やがて、テレビで「朝まで生テレビ」が始まって、「右翼特集」が組まれたり、ゲストで招んだ漫画家の小林よしのりさんが、参加以来、生徒たちの熱気に押されるかたちでオウム事件に取り組み始め、坂本弁護士事件の解決につながったこともありましたし、グリコ森永事件の犯人と目されたキツネ目の男と宮崎孝さんは、年収一億、借金三十億、貯金ゼロ、愛人五人を堂々と発言され、生徒はその一つ一つに深いため息をつきました。また河合塾に集った反日講師、及びその追随職員の影響にもかかわらず、関西の教育機関で初めて拉致被害者の一人運池透さんをお招きしたときには、あちこちの高校の先生から多くのメールをいただき、河合塾こそ真の教育機関だ、なんて言われました。先生方も日ごろからよほど日教組にえらい目にあわされてるんですね(笑)。

根も葉もないうわさにつきないかもよ。でも、これは、人が、テロに何か「魂の伝播」を探している証人ではないでしょうか。昔創価学会の友人から、映画「人間革命」を勧められて観たことがあり、たいそう感動した覚えがありました。そこでは、主人公「戸田城聖」が日の昇るのを見て、「形なく大ききもの」生命こそ最も尊いものだ、と確然と認識するシーンがあり、「生命」を尊ぶ宗教の素晴らしさに心打たれました。しかし、また別の機会に、三島由紀夫の「春の雪」三部作の中に「雪」を「刀を腹に突き立てた時、日は喉の裏に、嘸突(かくやく)と昇った」に接した時の、究極の存在だったはずの「生命」をさらに超えた存在すなわち、霊性(スピリチュアリティ)を感得した時の、とてもない感動ほど大きなものはありませんでした。

日蓮宗の名だたる宗教者の霊性を上回る三島由紀夫の霊性。彼の作品が読まれ続け、また、どこかでテロリズムというかたちでその魂を受け継がれ続けるのは、彼のその「魂の裏に嘸突と昇った」生命を越えたものの存在「霊性」のせいではないでしょうか。

学校の先生にお願いしませんが、どうか、生徒の修学旅行先を靖国神社に、という義務付けをお願いしたいと思ひます。三島作品を読めるようになる前に、靖国神社で、そんなに年の変わらぬままこの国のために散華した先達たちの魂に触れて、日本人の霊性に近づいて、瞬間を共有することこそ、真の教育だと思ひます。

死ななかったテロリストは、彼らの魂を誰がどう抱きとめるか。以上を主題に、私の生い立ちから語らせていただきたいと思います。

私は昭和27年岐阜県益田郡(現下呂市)金山町という今で言う過疎の町に生まれました。祖母が百姓をしており、おばあちゃん子だった私は、大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)に入った後、三里塚闘争(成田空港反対闘争)に参加しました。そして、昭和53年、卒業直後に行った管制塔突入闘争、いわゆる78年3・26闘争で、あえなく逮捕されました。

真真正正右翼とは

必死に自分の体をロープに結び付けて拒んでいるうち、指が凍傷でポロポロ落ちたにもかかわらず、まだ降りてくることを拒んでいたんです。ところが最後にたつて、反対同盟のおつかあに、泣かれながら「もういいよ。あんたのおかげで私ら助かったよ。もういいよ。降らせてきなよ。」の一言をもらってやっと降りてきて、にやりと笑って手錠をかけた。というところもなかなかいい男の中の男で、T検事が言うように、そいつが右翼だった、ということは、自分で自分を左翼だと思っていた私には、いさかショックでした。

三島由紀夫が自決したとき、新左翼のカリスマ教祖滝田修が、「わが左翼にも三島のような烈士がほしい」と言った言葉の裏返しのようなものもあり、なんだかどうもななく気が悪かったのを覚えていて。

T検事は、やがてヤメ検弁護士、腕の立つ弁護士になり、私の処女作『京都よ、わが情念のはるかな飛翔をせよ』が本になった時、一番最初に贈った一人になりました。

一日会の中村さんや、中山先生は、20年ほど前に、私が今も勤める河合塾大阪校で「左右激突討論会」というイベントを企画し、私自身が司会を務めさせていただいたとき、お世話になった方々です。このイベントは、7、8年続きました。左からは、元赤軍派の塩野孝也議長、右からは、一水会の鈴木邦男代表がメインゲストで来ていたとき、その年によって、中山先生

はじめいろいろな方に出ていただき、若く多感な浪人生たちに深甚の影響を与えました。やがて、テレビで「朝まで生テレビ」が始まって、「右翼特集」が組まれたり、ゲストで招んだ漫画家の小林よしのりさんが、参加以来、生徒たちの熱気に押されるかたちでオウム事件に取り組み始め、坂本弁護士事件の解決につながったこともありましたし、グリコ森永事件の犯人と目されたキツネ目の男と宮崎孝さんは、年収一億、借金三十億、貯金ゼロ、愛人五人を堂々と発言され、生徒はその一つ一つに深いため息をつきました。また河合塾に集った反日講師、及びその追随職員の影響にもかかわらず、関西の教育機関で初めて拉致被害者の一人運池透さんをお招きしたときには、あちこちの高校の先生から多くのメールをいただき、河合塾こそ真の教育機関だ、なんて言われました。先生方も日ごろからよほど日教組にえらい目にあわされてるんですね(笑)。

根も葉もないうわさにつきないかもよ。でも、これは、人が、テロに何か「魂の伝播」を探している証人ではないでしょうか。昔創価学会の友人から、映画「人間革命」を勧められて観たことがあり、たいそう感動した覚えがありました。そこでは、主人公「戸田城聖」が日の昇るのを見て、「形なく大ききもの」生命こそ最も尊いものだ、と確然と認識するシーンがあり、「生命」を尊ぶ宗教の素晴らしさに心打たれました。しかし、また別の機会に、三島由紀夫の「春の雪」三部作の中に「雪」を「刀を腹に突き立てた時、日は喉の裏に、嘸突(かくやく)と昇った」に接した時の、究極の存在だったはずの「生命」をさらに超えた存在すなわち、霊性(スピリチュアリティ)を感得した時の、とてもない感動ほど大きなものはありませんでした。

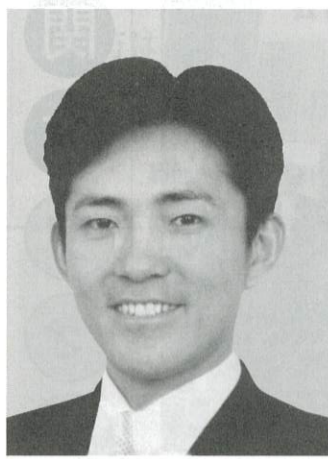
日蓮宗の名だたる宗教者の霊性を上回る三島由紀夫の霊性。彼の作品が読まれ続け、また、どこかでテロリズムというかたちでその魂を受け継がれ続けるのは、彼のその「魂の裏に嘸突と昇った」生命を越えたものの存在「霊性」のせいではないでしょうか。

学校の先生にお願いしませんが、どうか、生徒の修学旅行先を靖国神社に、という義務付けをお願いしたいと思ひます。三島作品を読めるようになる前に、靖国神社で、そんなに年の変わらぬままこの国のために散華した先達たちの魂に触れて、日本人の霊性に近づいて、瞬間を共有することこそ、真の教育だと思ひます。

死ななかったテロリストは、彼らの魂を誰がどう抱きとめるか。以上を主題に、私の生い立ちから語らせていただきたいと思います。

私は昭和27年岐阜県益田郡(現下呂市)金山町という今で言う過疎の町に生まれました。祖母が百姓をしており、おばあちゃん子だった私は、大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)に入った後、三里塚闘争(成田空港反対闘争)に参加しました。そして、昭和53年、卒業直後に行った管制塔突入闘争、いわゆる78年3・26闘争で、あえなく逮捕されました。

真真正正右翼とは



まさたけ
田中正剛氏 (35歳)

西宮市議会議員

負の遺産の清算・
初志を忘れず

〒662-0854
西宮市榎塚町1-14光永ビル3F

荒木幹男氏 (62歳)

大阪市議会議員(自由民主党)

祝日には
国旗を揚げましょう

〒555-0033
大阪市西淀川区姫島3-10-1



筒井のぶお氏 (45歳)

兵庫県議会議員(自由民主党)

陸上自衛隊少年工科学
学校の経験を生かし
責任を持つ政治の再
建を目指す

〒662-0047
西宮市寿町2-37
ロイヤルハイツ夙川101



ひとし
岩木均氏 (52歳)

大阪府議会議員

大阪の開花を願う

〒547-0044
大阪市平野区平野本町1-13-11



はぜじゅんいち
土師純一氏 (50歳)

堺市議会議員(みんなの党)

議員定数削減、
議員報酬削減、
議員年金廃止

〒590-0115
堺市南区茶山台3-16-2



ひとし
加藤均氏 (81歳)

堺市市議会議員(自由民主党)

市民と自衛隊とのふ
れあいを深め安全保
障意識の昂揚を図る

〒590-0948
堺市戎之町西1-1-30



みずのうえなるあき
水ノ上成彰氏 (47歳)

堺市議会議員(大阪維新の会)

大阪の再生は
日本再生の切り札

〒592-8347
堺市西区浜寺諏訪森3-234-4



かみやそうへい
神谷宗幣氏 (33歳)

吹田市議会議員

志をもって万事の源
となす、変えよう!
若者の意識

〒565-0851
吹田市千里山西1-37-20



森脇やすと氏 (58歳)

兵庫県議会議員(自由民主党)

道徳教育の普及、
夫婦別姓反対、
学力向上

〒665-0852
宝塚市売布2-5-1
ピピアめふ1-107

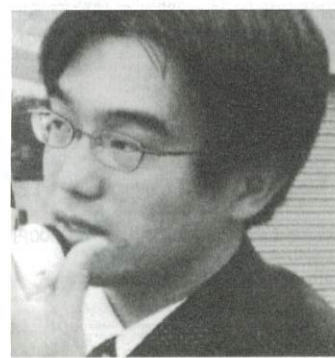


すぎ
杉はじめ氏 (30歳)

伊丹市議会議員

未来に、子供に負担を
残さないために

〒664-0897
伊丹市桜ヶ丘4-4-23
桜ヶ丘ハイツ203



関防会の会員議員を紹介します

(アイウエオ順)

関防フォトフラッシュ



山本 覺氏 藍綬褒章受章記念祝賀会
前列中央、山本夫妻、後列右から5人目寺島泰三郷友会長 (元・統合幕僚長)



雪中の紀元祭 2月11日檀原神宮参拝関防会役員

東日本大地震に思う

総務部長 山本賢一

三月十一日午後二時四六分頃、三陸沖を震源地とする巨大地震が発生した。岩手、宮城、福島各県の沿岸地域に高さ十数メートルの津波が襲い、沿岸の集落が軒並み壊滅的被害を受けた。同時に福島県の沿岸地域に建設されていた東京電力の原子力発電所(福島第一、福島第二等)が激震と巨大津波の影響で深刻なダメージを受けた。

この地震の大きさは、当初マグニチュード8.8と報じられていたが数日後には「実は観測史上最大の9.0だった」と修正された。テレビから流れてくる地震災害の映像は正視できないほどの悲惨さである。沿海部の集落を津波から守るはずの頑丈な防護壁はズタズタに破壊され、沿岸から数キロ先まで木々端みじんが破壊されてしまった。特に世界中を驚かせたのは、原発で発生した深刻な爆発事故である。核問題に対する特別の思いを有する日本だから、原発の安全には他国より留意しているものと考えられていただけに「あつてはいけない事故だ」「想定をはるかに超えた深刻な事故だ」とのコメントが内外から寄せられた。

福島第一原発の一号機において水素爆発が起き、続いて三号機において巨大な炎と共に黒煙が空高く噴出した映像は全世界に大きな衝撃を与えた。

どうやら地震と津波の影響で核燃料の格納容器を冷却する装置が全面的にダウンしたといつことらしいことが判明した。

ここでも「想定以上の地震と津波だったのでは」というようなコメントが相次いで出された。しかも、海水からも異常な値が検出されている。原発破壊の影響がどこまで拡散するの全く分からない。日本の危機管理能力が問われている。一日も早く安心して生活できる日が来ることを念じるばかりだ。

編集後記

録されていたではないか。日本の原発だったら「最悪の事態にも耐えられる設計」にすべきたつたのではないかと。日本にはそれだけの技術があったはずだ。

報道によると、想定された津波の高さは最高でもせいぜい五ないし六メートルだったとのことである。原子炉建屋の想定震度も低い水準に止まっていたはずだ。なぜこのような甘い判断が了承されたのか、厳しく責任を追及しなくてはならない。なぜなら破壊された原子炉建屋からは大量の放射性物質が外部に拡散しているからである。外国の大使館が関西や広島に移転をした。関東の農地から採取された野菜類から基準以上放射能の値が出た。生乳からも、海水からも異常な値が検出されている。原発破壊の影響がどこまで拡散するの全く分からない。日本の危機管理能力が問われている。一日も早く安心して生活できる日が来ることを念じるばかりだ。

この号の編集に入った東北関東大震災が発生した。菅内閣総理大臣は自衛隊10万人出動を指示した。野党時代は国旗・国歌法案制定に反対し、自衛隊を税金泥棒呼ばわり蔑視した人物だ。このような人物が自衛隊の最高指揮官とはブラックユーモアではないか。

東電の原子炉が融解したように我が国も溶け始めているのではないか。

*尖閣諸島、北方領土、竹島などの問題を解決するには国家の基盤である憲法を変えなければならない。そして、国際標準の国力相応な軍備を持たなければ、解決の端緒につけない。

陸軍刑法、海軍刑法の復活、そして空軍刑法を制定してこそ軍隊である。軍法会議の無い自衛隊は軍隊ではない事実を我々は再確認すべきであろう。

故高橋季義会長(海兵)とコレスだった海軍経理学校出身で小会相談役だった故鈴木満男博士の横田喜三郎最高裁長官批判を思い出した。

そこで鈴木博士(東大法学部卒)と親交のあった奥村直氏に我が国法曹界を牛耳る東大法学部の戦後日本に与えた影響を考察願った。時の吉田茂総理が法学阿世の輩と指弾した南原東大総長を想起するとき、さもありなんと思いが、これも売国奴的教授の孫弟子が仙谷由人前官房長官である。仙谷氏については小寺弁護士も触れておられる。

*奥村直氏は筆致を押さえ

朝鮮問題が6ヶ国協議に戻るのか、最悪事態に変わるのか。朝鮮戦争は休戦中であるが、早晩休戦が破られて戦況及び治安の不安定事態が発生することは予測される。米中戦争に発展しないでも、米韓両軍をほじめ、朝鮮国連軍参加国がこの收拾のために参戦することになる。日本はこの参加国との間に「国連軍地位協定」を締結しており、在日米軍基地のうち7ヶ所を国連軍用基地と指定している。



朝鮮半島最悪の事態に対処せよ

日本が朝鮮半島最悪事態のシナリオに対処するためには、国連軍を支援するために1999年に制定した周辺事

のために基地だけでなく、空港、港湾等も提供し、情報、後方兵站など自衛隊による軍事援助が必要となる。又、邦人救出の問題では、戦場となっている韓国の空港、港湾などを日本が優先的に使用する事は不可能で、米韓、国連軍と前もって外交的にも調整しておく必要がある。

北朝鮮系の人々を含んだ何万、何十万人もの難民が日本にたどり着くであろう。その人達のための収容施設、衣料給食、生活環境の支援、又暴動抑止の方策等は出来ているのか。

北朝鮮のミサイル攻撃に對しては、ミサイル防衛と敵基地攻撃しかない。ミサイル防衛は技術的、数量的に日本全土は守れない。敵

基地攻撃は今の自衛隊では技術的に不可能で、米韓軍に依存せざるを得ない。シエルト、地下街の空気清浄、国民指導訓練の対応策は何も出ていない。

北朝鮮には20万人(韓国国防白書による)の特殊部隊があり、韓国、日本の国内にはこれに内通する者がいる。1996年韓国に26人のゲリラが侵入しただけで、韓国軍は6万人の兵士を数日投入せねばならなかった。

要人テロ、国民生活を維持する国内の各発電所、石油コンビナート、水源地、通信機器、交通施設等へのゲリラ攻撃に対する警察の対応は緊急の課題ではないか。

(I・Y)

新しい歴史教科書の採択推進大会

本年は、いよいよ教科書採択の年です。自由社版「歴史」「公民」の教科書を大阪の中学生に届ける運動にご参加下さい

*日時 6月25日(土)午後2時から5時まで

*会場 大阪市立中央会館ホール
電話06-6211-0630
大阪市中央区島之内2丁目12-31
地下鉄堺筋線、長堀鶴見緑地線「長堀橋駅」下車 6号出口南東へ徒歩6分

*講演登壇予定者
藤岡信勝(東大名誉教授)
三宅博(立ち上がり日本・大阪14区代表)
濱野晃吉(関西防衛を支える会会長)
他にも打診中です

*入場無料 奮っての御参加をお待ちしています

死んでたまるか!!

田幸教授(琉球大)開発の特許商品!!
沖縄モズクと北海道産真昆布ガニアンの純粋フコイタンをダブルで配合!!
生活習慣病が気になる方に...

【フコイタンZ】150粒(25-50日分)25,000円
お試し用30粒入り2,000円と
お徳用350粒入り50,000円もあります。

Beauty Health Laboratory
ビー・エイチ・ラボ
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824
携帯・PC共通 http://bh-labo.net

送迎車両の運行と管理は
安心・安全の弊社へ!

人員送迎の
・乗用車・ワンボックス車
・マイクロバス・大型バス
運転請負の専門会社

社団法人 日本自家用自動車管理業協会(正会員)
株式会社 サンワ運行委託
フリーダイヤル 0120-77-5645
URL http://www.sanwa-drivers.co.jp/
一本社一
〒570-0032 大阪府守口市菊水通2-19-1(菊水第二ビル)
☎06(6993)5645 FAX06(6993)5644
神戸支社 ☎078(652)5645/京都営業所 ☎075(595)5645